

ビジネス会計検定試験（3級サンプル問題）

問題1 次の問いに答えなさい。

【1 - 1】次の文章の空欄（ア）から（エ）に当てはまる語句の適切な組み合わせを選びなさい。

貸借対照表は（ア）における企業の（イ）を表示し、損益計算書は（ウ）における企業の（エ）を表示する計算書である。

（ア）一定時点 （イ）財政状態 （ウ）一定期間 （エ）経営成績

（ア）一定期間 （イ）財政状態 （ウ）一定時点 （エ）資金状況

（ア）一定期間 （イ）資金状況 （ウ）一定時点 （エ）経営成績

（ア）一定時点 （イ）経営成績 （ウ）一定期間 （エ）資金状況

（ア）一定期間 （イ）資金状況 （ウ）一定時点 （エ）財政状態

【1 - 2】損益計算書に関する次の文章のうち、正しいものを選びなさい。

損益計算書で計算される当期純利益は、決算日時点における純利益である。

損益計算書は、会計期間の期首と期末の資産と負債を比較して純利益を計算する表である。

費用収益対応の原則とは、期間内に実現した収益と当該収益の獲得に貢献した費用を対応させることである。

収益と費用の対応関係には個別的対応と期間的対応があるが、受取利息と支払利息の対応は個別的対応の一例である。

発生主義とは、現実に現金を受け取り、または支払った時点で、それぞれ収益または費用が発生したものとして計上する認識基準である。

【1 - 3】次の(ア)から(エ)の項目に該当する略称の適切な組み合わせを選びなさい。

- (ア) 総資本経常利益率
- (イ) 1株利益
- (ウ) 自己資本利益率
- (エ) 株価収益率

- (ア) ROI (イ) PER (ウ) EPS (エ) ROE
- (ア) EPS (イ) ROI (ウ) ROE (エ) PER
- (ア) ROI (イ) EPS (ウ) ROE (エ) PER
- (ア) ROE (イ) PER (ウ) ROI (エ) EPS
- (ア) PER (イ) EPS (ウ) ROI (エ) ROE

【1 - 4】次の資料から経常利益を計算し、正しい数値を選びなさい(金額単位：百万円)

有価証券売却損	10	営業利益	200	支払利息	40
受取配当金	20	売上原価	40	受取利息	30

- 160
- 170
- 180
- 190
- 200

問題2 次の文章を読み、問いに答えなさい。

以下の損益計算書の数値(金額単位：百万円)に基づいて、売上高を100%として損益計算書百分比を計算すると、売上原価率は(ア) %、売上総利益率は(イ) %、営業利益率は(ウ) %である。

売上高	5,000	売上原価	3,000	販売費及び一般管理費	1,000
-----	-------	------	-------	------------	-------

【2 - 1】空欄(ア)に当てはまる数値を選びなさい。

- 20
- 30
- 40
- 50
- 60

【2 - 2】空欄(イ)に当てはまる数値を選びなさい。

- 20
- 30
- 40
- 50
- 60

【2 - 3】空欄(ウ)に当てはまる数値を選びなさい。

- 20
- 30
- 40
- 50
- 60

問題3 別紙1(問題3)を読み、次の問いに答えなさい。<資料1>は財務諸表等を完成させるための条件、<資料2>は財務諸表である。

【3-1】空欄(ア)に当てはまる数値を選びなさい。

800 900 1,000 1,100 1,200

【3-2】空欄(イ)に当てはまる数値を選びなさい。

600 700 800 900 1,000

【3-3】空欄(ウ)に当てはまる数値を選びなさい。

1,700 1,800 1,900 2,000 2,100

【3-4】空欄(エ)に当てはまる数値を選びなさい。

5,000 6,000 7,000 8,000 9,000

【3-5】空欄(オ)に当てはまる数値を選びなさい。

1,200 1,300 1,400 1,500 1,600

【3-6】空欄(カ)に当てはまる数値を選びなさい。

1,100 1,200 1,300 1,400 1,500

【3-7】空欄(キ)に当てはまる数値を選びなさい。

1,700 1,800 1,900 2,000 2,100

【3-8】空欄(ク)に当てはまる数値を選びなさい。

5,000 6,000 7,000 8,000 9,000

【3-9】空欄(ケ)に当てはまる数値を選びなさい。

2,000 3,000 4,000 5,000 6,000

【3-10】空欄(コ)に当てはまる数値を選びなさい。

200 300 400 500 600

【3-11】空欄(サ)に当てはまる数値を選びなさい。

200 300 400 500 600

【3-12】空欄(シ)に当てはまる数値を選びなさい。

100 200 300 400 500

【3-13】空欄(ス)に当てはまる数値を選びなさい。

200 300 400 500 600

【3-14】空欄(セ)に当てはまる数値を選びなさい。

140 160 180 200 220

【3 - 1 5】空欄(ソ)に当てはまる数値を選びなさい。

150 200 250 300 350

【3 - 1 6】空欄(タ)に当てはまる数値を選びなさい。

160 170 180 190 200

【3 - 1 7】空欄(チ)に当てはまる数値を選びなさい。

10 20 30 40 50

< 資料 1 > 財務諸表等 (資料 2) を完成させるための条件

- a. 売上高経常利益率は6%である。
- b. 売上原価率は80%である。
- c. 総資本経常利益率は6%である。
- d. 流動比率は200%である。
- e. 流動資産は記載された項目だけで構成されている。
- f. 繰延資産はない。
- g. 純資産を自己資本とみなし、そのときの自己資本比率は40%である。
- h. 営業外損益は100の費用超過となっている。
- i. 従業員一人当たり売上高は25である。
- j. 特別損益はない。
- k. 貸借対照表構成比率における棚卸資産の割合は20%である。
- l. 固定資産の構成は以下のとおりである。
建物 800 土地 700 特許権 300 投資有価証券 (各自計算)
- m. 純資産の構成は以下のとおりである。
資本金 1,200 資本剰余金 200 利益剰余金 400 その他有価証券評価差額金 (各自計算)
- n. 各種比率・指標を計算する際に必要な貸借対照表の数値、発行済株式数および従業員数は、期中平均値ではなく、< 資料 2 > に示されているか、そこで導かれる数値とする。
- o. 金額単位は明記した部分を除きは百万円とする。

< 資料 2 > 財務諸表 (空欄のカッコで示されている用語・数値は各自で導くこと)

[貸借対照表]	
流動資産	3,000
現金預金	500
受取手形・売掛金	(ア)
棚卸資産	(イ)
その他の流動資産	500
固定資産	(ウ)
資産合計	(エ)
流動負債	(オ)
固定負債	(カ)
純資産	(キ)
負債・純資産合計	(ク)

[損益計算書]	
売上高	5,000
売上原価	(ケ)
() 利益	()
販売費・一般管理費	(コ)
() 利益	(サ)
営業外収益	100
営業外費用	(シ)
() 利益	(ス)
特別利益	()
特別損失	()
() 利益	()
法人税等	120
() 利益	(セ)
従業員数	(ソ) 名
発行済株式数	1 百万株
1株当たり株式時価	3,600円
1株当たり当期純利益	(タ) 円
株価収益率	(チ) 倍

正解 【1 - 1】 【1 - 2】 【1 - 3】 【1 - 4】
【2 - 1】 【2 - 2】 【2 - 3】
【3 - 1】 【3 - 2】 【3 - 3】 【3 - 4】 【3 - 5】 【3 - 6】
【3 - 7】 【3 - 8】 【3 - 9】 【3 - 10】 【3 - 11】 【3 - 12】
【3 - 13】 【3 - 14】 【3 - 15】 【3 - 16】 【3 - 17】